

ISO/TC 283 コミュニケ 第1回総会、コベントリ、2018年9月

概要

第1回ISO/TC 283総会が、2018年9月17日～21日英国/コベントリで開催された。

出席：

Pメンバー国： 36

外部リエゾン： 5

ISO内リエゾン： 4

ゲストリエゾン： 1 (ETUC, 現在リエゾン設定の承認投票中)

代表者約75人が会議に参加、更に週内通して最大10名が電子会議システムで参加した。

会議の週内で次の会議が行われた：

ISO/TC 283 CAG (議長諮問グループ)

ISO/TC 283/TG1 コミュニケーション

ISO/TC 283/WG2 職場の精神的な安全衛生

ISO/TC 283/WG3 実践ハンドブック



ISO/TC 283総会代表団、2018年9月

オープニング総会

マーチン・コッタム議長が開会宣言し、各国代表のコベントリ大学への来訪を歓迎した。

開会の挨拶の中で、今年6月に他界した同僚のマレーシアのフセイン・ラーマト氏に触れた。フセインは情熱的で建設的で親切なISO/PC 283メンバーとして記憶に残ることだろう。マラッカでISO/PC 283会議を主催した際の彼の温かい歓迎や寛容を多くの委員会メンバーが語っており、ご友人とご家族へ心から哀悼の意を表したい。

議長はISO 45001:2018が無事に発行されたことを祝したが、この達成は課題への単なるスタートであると強調した。ISO 45001が入手可能となったからには、委員会ではできるだけ多くの組織の労働安全衛生パフォーマンスの改善を助けるため、世界中の潜在的な利用者によって伝えなければならない。ISO 45001:2018は組織の規模、分野又は地理的場所によらない一般的規格であるが、異なるタイプの利用者の異なるニーズに応える支援文書を開発することが課題である。このため、議長は皆の課題が同じあるわけではないことを認識する必要性を強調し、議論において好奇心と探求心を持つよう奨励した。

全ての地域で自らの課題を調査し発見する十分な機会を持つことを確実にするため、委員会は地域代表を指名した。これら代表はその地域の全メンバー国と定期的に連携して地域での優先についての洞察を深め、委員会の作業の舵取りを助けることを要請された。

オープニング総会で、IIOC、ITUC及びISO/TC 154からリエゾン報告が行われた。ISO/TC207からは口頭報告はなく文書が回覧された。

オープニング総会で、可能性のある新業務項目が紹介された。

1. 労働安全衛生指標 – フランス
2. インシデント調査 – フランス
3. 実践ガイダンス規格 – スウェーデン
4. 労働安全衛生リーダーシップ – アラブ首長国連邦 & 英国

メンバーは、現時点で2件の承認された項目(詳細は下記)を優先し、質の高い文書を作るため委員会の能力を運営管理することが重要であり、同時に並行開発するプロジェクト数は制限すべきことで合意した。

正式な規格を開発するためには正式な新業務項目提案を提出し、委員会で承認されなければならないと、国際幹事から再注意があった。

コミュニケーショングループは、優先度高いテーマの非公式コミュニケーション文書を作成する。

ISO/TC 283/TG1 コミュニケーション

コミュニケーションTGは、Pメンバー7人、外部リエゾン1人が参加した。

TGは、作業範囲を決め、暫定的なコミュニケーション計画を策定し、次の異なる一連作業をする小グループに分かれることにした。

作業範囲：

- TC 283成果物及び活動に関係するすべての外部コミュニケーションを運営管理する
- 信頼性ある認められた適切な情報のハブとなる
- TC 283内のWG及びTG、他のISO TCとコミュニケーションに関する事項のインターフェースをとる

一連作業：

- TC 283のメッセージを決める(内部及び外部) – Maureen Gillet
- ウェブサイト(構成、読者) – Steve Griffiths
- TC 283リエゾン及び更新 – David Solomon、Kathy Seabrook
- 信頼性/承認の検証のためのプロセス/指針(基準)の開発 – Catherine Montagnon

ISO/TC 283メンバーはこのTGにISOグローバルディレクトリからエキスパートの追加登録ができる。TGメンバーは参加したい一連作業を決めてKathy Seabrook(コンビーナ)に連絡すること。

ISO/TC 283/WG2 職場の精神的な安全衛生

WG2は、20のPメンバー国からのエキスパート38人、リエゾン4人が参加した。

「ISO 45003 労働安全衛生マネジメント—職場の精神的な安全衛生—指針」という新プロジェクトで作業は大きな進捗が得られた。WG2総会及び小グループでの議論を組合せて週内で素案がほぼ完成し、残り作業は電子的に行う予定である。12月に電子会議を行うが、その前に事前にコメント照会のためにWDがWGメンバーに回付される予定である。

ISO/TC 283/WG 3 実践ハンドブック

WG3は、20のPメンバー国からのエキスパート27人、リエゾン4人が参加した。

リーダーのJerry RamduneeとVic Toyの支援で、WGは原案作成のため小グループで作業した。

ISO 14001ハンドブックをベース文書として使うことを決定したが、提出された他のインプット文書からのテキストも使用する。

コメント照会の回覧をWG3メンバーに行う前に、ハンドブックの予備原案を小グループで完成するためタスク毎の定期的な電子会議を開催する予定である。

WGは、目標の発行日程が2019年11月であることを確認したが、そのためには作業プログラムを加速する必要がある。

ハンドブックはISO規格ではないため通常の投票プロセスや日程期限はなく、最終的にTCで承認を受ければ発行できる。

ISO/TC 283/CAG(議長諮問グループ)

議長諮問グループ(クロージング総会の決議でCAGの設置が承認された)の会議は最終日の午前に行われ、TG及びWGリーダーは進捗報告を共有しこれまでの課題を挙げる機会を得られた。更に、地域の代表が最初の会議のフィードバックを報告し今後の地域メンバー間の情報入手計画を伝えた。

CAGの追加メンバーとしては、(PC 283元議長の) David Smith及び新メンバー大使の役割の

Brenda Henry (カナダ) が参加した。Brendaの役割は新規参加メンバーが委員会に受け入れられ全面的に参加するのに必要な援助を受けられることを確実にすることである。

CAGでは、ISO/TC 283の戦略ビジネス計画(SBP)の開発が議論された。SBPはTC設置から18ヶ月以内にISOに提出が必要である。議長と国際幹事はSBPの素案を作成し2019年3月の会議前にCAGメンバーに回覧する予定で、3月会議で完成することが望まれる。SBPはその後毎年見直しされる。今後、CAGは対面会議の前日及びクロージング総会の前日の午前に会合する。また、電話会議及び電子メールで定期的にコミュニケーションを図る予定である。

社交行事

週内で、代表団はいくつかの公式及び非公式に親交を深める交流機会があった。ドリンク歓迎会が月曜のオープニング総会後に大学施設で開催され、BSIの標準化部門取締役Scott Steedman博士から、英国に同僚の皆様が戻られたことの歓迎とこの重要な作業に参加されたことへの謝意の挨拶があった。

コベントリ大学では、病院施設、公開劇場、産科病棟を含む最新の教育施設のツアーを勧めた。

David Solomonは大学の素晴らしい施設を利用した多くのうちの一人である。

週の締め括りに、代表団は、短い見学と伝統的な英国ローストディナーを含む、歴史的なワーウィック城見学旅行を楽しんだ。委員会はコベントリ大学及びBSIが非常に寛大な主催をし、新TCの第1回会議が生産性高くかつ楽しいものとなるよう支援していただいたことに心から感謝する。

決議

クロージング総会では13件の決議が承認された。

1. 議長諮問グループ (CAG) を設置する
2. 地域代表を指名する
3. 用語タスクグループ(TG2)を設置しコンビーナをTrevor Doddとする
4. TC283からISO/TC 262リスクマネジメントへのリエゾン設定をする
5. TC283からISO/TC 314高齢化社会へのリエゾン設定をする
6. TC283からISO/TC 262人間工学へのリエゾン設定をする
7. 今後の文書でISO 45001:2018の用語及び定義を使う
8. ISO/TC 283/WG1のリーダーシップとメンバーに感謝し、WG1を閉設する
9. ISO/PC 283のリーダーシップに感謝する
10. 現在承認されている2件の業務項目に投票された作業項目タイトルを使う
11. ISO 45002を将来のISO 45001実践ガイダンス規格に使う
12. コベントリ大学に会議の主催をしていただいたことを感謝する
13. BSI及び行事チームに感謝する

今後の会議

会議2：2019年3月4日～8日 ダラス/米国 確認済

ANSI及びISNに主催を感謝する。更に詳細は間もなく発信の予定。

会議3：2019年9月 アフリカ 詳細は今後確認

ルワンダ及びモロッコに招待を感謝する。日程及び会議場をできるだけ早く確認する。

会議4：2020年3月 申出の確認中

この会議を主催可能なメンバー国はSally Swingewoodまで連絡する。

会議5：2020年9月 エルサルバドル 確認済

詳細は別途

上で使った写真の多くを提供いただいたJan Toft Rasmussenに感謝する。また、Dimple Tailor, Maimunanah Khalid さん他の皆様に写真提供を感謝する。

Sally Swingewood

委員会幹事

ISO/TC 283国際幹事BSI代表